日本研究・知的交流事業に必要な経費

日米センター運営管理費

１．ニューヨーク日米センター事業費

（１）ニューヨーク日米センター企画開発事業（主催）
（２）日米協会支援プログラム（助成事業）
（３）知的交流小規模助成
（４）教育アウトリーチ支援小規模助成
（５）地域・草の根交流小規模助成

日米センター運営管理費

１．ニューヨーク日米センター事業費 ／ (1) ニューヨーク日米センター企画開発事業（主催）

日米間の知的交流・草の根交流を促進し、米国内での関係団体とのネットワークを形成し、新たなニーズに即した事業を積極的に企画・開発していくために、ニューヨーク日米センターのイニシアティブにより各種事業を実施。

合計額 5,125,251 円

	事業名	協力団体名	期間	事業内容
1	ジャパン・ファンダーズ会合	米国法人 日本国際交流センター(JCIE-USA)、アジア・ソサエティ、国際教育研究所（IIE）	2011.07.19 ～ 2011.07.23	東日本大震災支援のために支援基金を立ち上げた米国の日本関連団体、日本を助成対象としている財団、震災支援に関心を持つ日米両国のNPO/NGO関係者を招へいし、情報共有とネットワーキング、今後の支援のあり方やニーズとのマッチング方法等を討議する会議をニューヨークで実施

１．ニューヨーク日米センター事業費 ／ (2) 日米協会支援プログラム（助成事業）

日米における日米協会のネットワーク化とキャパシティ・ビルディングを図り、日米間の地域・草の根交流の担い手としての日米協会を育成するために支援を実施。

合計額 8,342,586 円

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
1	事業開発ディレクター確保を通じたキャパシティ･ビルディング（3年計画事業の3年目）	ジョージア日米協会	2012.07.01 ～ 2013.06.30	事業開発ディレクターを新規に採用することで、キャパシティ・ビルディングの強化を図るプロジェクト。同協会が位置するアトランタ市以外のジョージア州広域における会員数拡大のための活動（ニーズ調査等）、活動資金獲得のためのキャンペーン実施、会員・一般向けプログラムの開発を実施
2	継続性実現のための3年計画	コロラド日米協会	2012.01.01 ～ 2012.12.31	コロラド日米協会が所在するデンバー以外へ活動範囲を拡大する事業。協会の会員拡大や文化・日本語プログラムの拡充を実施。3カ年事業の1年目
3	フロリダ日本サミット	北西フロリダ日米協会	2012.01.01 ～ 2012.12.31	フロリダ州内の日本関連団体の連携促進のための関係者のネットワーク会議を年1回実施する3カ年計画事業の1年目
4	メンバーシップ形成コミュニティづくり	ボストン日米協会	2012.01.01 ～ 2012.12.31	日米協会の会員拡大のための非常勤スタッフを雇用する他、さくら祭りの新規立ち上げや、米国北東部地方の日本関連イベントカレンダーの作成と共有等を実施

１．ニューヨーク日米センター事業費 ／ (3) 知的交流小規模助成

米国内の新たなニーズに対応した先駆的事業や、米国内の大学・シンクタンク・政府・財団関係のアジェンダ・セッティングやネットワーク会合などに機動的に対応し、通常の助成事業の企画開発へとつなげていくために小規模の助成を実施。

合計額 6,124,226 円

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
1	ジャパン・ライジング・カンファレンス	アジア・ソサエティ・南カリフォルニア	2011.10.01 ～ 2011.11.31	東日本大震災後、原発問題など日本のマイナス面が報道されがちであるため、特に日本の「強み」や「ポジティブな側面」の紹介を目的としてカンファレンスを実施。科学技術、食文化、ファッション、映画等の多様な切り口から日本の「今」を紹介、約300名の聴衆が参加
2	東日本大震災前後の日米関係	東西センター	2011.10.01 ～ 2011.11.31	東日本大震災前後での日米関係の変化を考察するため、久保文明（東京大学教授）を招へいし、ハワイ大学や東西センターの研究員・学生を対象としたラウンド・テーブル及び民間関係者も含めた公開の催しを2日間にわたり実施
3	南アジア・中央アジアにおける日本と米国：中国台頭の時代における機会と諸課題	ジョンズ・ホプキンス大学ライシャワーセンター東アジア研究所	2011.12.01 ～ 2012.05.31	従来あまり研究されてこなかった、南アジア及び中央アジアにおける日米協力の可能性、日米の関与が地域の安定にもたらす意味等について、中国の同地域での活動にも留意しつつ検証。2012年3月にトロントで開催されたアジア研究学会で実施されたセッション
4	日本・アジア太平洋・さらにその広域における情報ガバナンスの政治学	ミネソタ州立大学	2011.12.01 ～ 2012.05.31	情報・コミュニケーション技術の発達が社会や各国政府に与えるインパクトと、そのガバナンスのあり方についての諸課題を様々な角度から検証。2012年3月にトロントで開催されたアジア研究学会で実施されたセッション
5	フクシマ後のアジア各国の核エネルギー政策	ヴァンダービルド大学	2011.12.01 ～ 2012.05.31	福島原発事故が、アジア、特に今後経済発展との関係で動向が注目される中国、韓国、インド等の国々の長期的な核エネルギー政策に与えた影響を検証。2012年3月にトロントで開催されたアジア研究学会で実施されたセッション
6	民主党政権2年間の理論面と実践面における評価	カリフォルニア大学サンディエゴ校	2011.12.01 ～ 2012.05.31	民主党が政権の座について以降、その支持母体や所属政治家の特徴、候補者選出方法といった様々な角度から同政党を検証した学術的研究が意外に少ないことから、同政党の設立時から振り返り、その特徴を分析。2012年3月にトロントで開催されたアジア研究学会で実施されたセッション
7	気候変動、有毒物質の流出、エコロジー都市：環境危機に対する日米の対応ぶり	北アリゾナ大学	2011.12.01 ～ 2012.05.31	福島原発事故によって気候変動やエネルギー不足等の危機に対する取り組みが不十分であったことが露呈したのを機に、国境を越えて影響力を及ぼすこれらの問題について特に日本と米国における取り組みを軸に、検証。2012年3月にトロントで開催されたアジア研究学会で実施されたセッション
8	革新か現状維持か：震災後1年の日本の政治経済	コロンビア大学	2011.12.01 ～ 2012.05.31	日本の未来については、金融危機や震災をきっかけに成長すると見る楽観論と、構造的、政治的、イデオロギー的行き詰まりから悲観する声とに二分されるが、この差が生まれる原因について様々な分野の専門家を集めて検証。2012年3月にトロントで開催されたアジア研究学会で実施されたセッション

日米センター運営管理費

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
9	気候変動に対するアジアの対応：各国の議論の比較	ミネソタ大学	2011.12.01 ～ 2012.05.31	日・韓・中・台湾・インドについて、各国・地域の新聞が気候変動問題をどのように扱っているかを比較分析することで、各国・地域の温室効果ガス緩和政策の成否に影響を与えると考えられる文化的・政治社会的要素を検証。2012年3月にトロントで開催されたアジア研究学会で実施されたセッション
10	変化か死か：移民、外国人と、日本の政治経済における人的資源開発と国際関係の未来	デュポール大学	2012.01.01 ～ 2012.04.30	高齢化社会、低出生率など日本が直面する様々な課題に対処する方法の一つとして、人的資源開発のための政策転換の必要性について議論。外国人労働者の日本社会・労働市場での位置づけ、それら人材の活用が復興に取り組む日本にとって新たなオプションとなりうるか、といった観点から議論。2012年3月にトロントで開催されたアジア研究学会で実施されたセッション

１．ニューヨーク日米センター事業費 ／ (4) 教育アウトリーチ支援小規模助成

米国内で開催される日本理解に資する教育アウトリーチ事業（日本講座や教育向けセミナー等）に対し、小規模の助成を実施。

合計額 7,636,257 円

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
1	桜祭り	ニューヨーク州立大学ストーニーブルック校	2011.05.01 ～ 2011.05.31	ニューヨークの都心で行われるフェスティバルとは別に、地域で身近に気軽に参加できる日本関連祭りとして開催。ニューヨーク州ロングアイランド地域のコミュニュティと日系アメリカ人を結びつけ、日本文化や芸術への理解を深めることを目指す
2	共に歌う：2011年セントラルパークのジャパン・デイ	ジャパン・デイ	2011.04.01 ～ 2011.05.31	ニューヨークのハーレム地区の青少年が日本のプロの4人組コーラスと一緒に英語と日本語で歌を練習し、共にステージで歌う経験を通して、日本文化のみならずお互いの文化的背景を学び、相互理解を深める事業
3	芸術を通じた日本文化	国際子供美術財団	2011.06.01 ～ 2011.06.30	ワシントンDC公立学校の8歳から16歳までの生徒とその家族に、日本の芸術や文化の歴史を紹介する事業。日本をテーマにした参加型、体験型の一般公開ワークショップを開催
4	七夕：夏の星のお祭り	ボストン子供博物館	2011.08.01 ～ 2011.08.31	来館する子供や家族を対象に、8月に行われる仙台の七夕祭りに合わせて七夕特集の映像を放映するほか、仙台の伝統的な飾りの作成、伝統的な日本の遊びや夏祭りの慣習、音楽や踊り等を紹介するとともに、東日本大震災の被災地や状況について理解を深める事業
5	アメリカ議会図書館桜寄贈関連教育企画	米日カウンシル	2012.03.01 ～ 2012.08.31	アメリカ議会図書館における「東京からワシントンDCへの桜寄贈（1912）」、「日本人から見た桜の美しさとその象徴」、「アメリカ人から見た桜」の三部構成の展示に合わせ、特別ガイドツアーや学生向けの日本語や文化に関する教育プログラムを提供
6	ダンスで日本文化を学ぶ無料教育プログラム	一戸小枝子ダンスカンパニー	2011.08.01 ～ 2011.09.30	子供を対象とした日本の伝統文化に関するワークショップ。着物や扇子を用いたデモンストレーションや日本の子供の遊びや踊りを実際に体験しながら日本の文化に触れる機会を提供
7	被爆者の物語	ユース・アーツ・ニューヨーク	2011.12.03 ～ 2012.05.13	日本等から原爆被爆者4名を招へいし、ニューヨークの公立高校において、軍縮や平和教育をテーマにした授業を実施
8	グローバル教室：日本へのパスポート	ワン・ツー・ワールド	2012.02.01 ～ 2012.12.31	ニューヨークの恵まれない境遇の青少年に、日本や日本文化に接する機会を提供することで、日本を身近に感じ、世界や国際関係に心を向ける契機とする事業。日本からのフルブライト研究者や留学生を教室に招へいし、交流するワークショップを開催
9	『この空の花－長岡花火物語』（第18回ホノルル・フェスティバル）	ホノルル・フェスティバル財団	2012.03.01 ～ 2012.03.31	新潟県長岡市がホノルルの姉妹都市となることから、第18回ホノルルフェスティバルにて、長岡花火大会と映画『この空の花－長岡花火物語』を紹介するセミナーを開催
10	春祭り2012	ボストン日本人会	2012.03.29 ～ 2012.04.30	日本から米国への桜寄贈100周年を記念して、ボストンで初めての開催となる春祭りを実施。地域の家族や小中高校生に対し、在ボストン日本人アーティストによる日本の音楽や踊りを紹介

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
11	ジャパン・スーツケース	リビルディング・トゥギャザー オクラホマシティ日米協会	2011.05.01 ～ 2012.03.31	オクラホマシティ日米協会とNPOリビルディング・トゥギャザーが協力し、オクラホマ市及びその周辺地域の子供から大人まで広い対象層に対し、日本文化をテーマとするワークショップを実施
12	ジャパン・コネクション：文化シンポジウム2011	サウスカロライナ弓道連盟	2011.07.01 ～ 2011.09.30	茶道、着物、生け花、根付、建築、歴史等に関する専門家によるマルチメディア・シンポジウムをジョージア州アトランタ市及びサウスカロライナ州グリーンビル市で実施
13	『千羽鶴』	ルース・エッカード・ホール	2011.10.01 ～ 2012.02.29	地方の子供たちを対象に佐々木禎子の実話に基づく『千羽鶴』(A Thousand Cranes)の公演ツアーを実施。芝居を鑑賞後、生徒たちは出演者とともにディスカッションや質疑応答等、子供の年齢に応じたワークショップを実施
14	日本特集ウィーク	ランダー大学	2011.09.01 ～ 2011.09.30	「日本特集ウィーク」と題してサウスカロライナ州グリーンウッド市及び周辺地域を対象に、講演、映画上映、パネルディスカッション、展示、ワークショップなど、複数の切り口から日本文化を紹介するイベントを実施
15	日本文化公演：落語ワークショップ	フィンドレー大学	2011.10.01 ～ 2011.10.31	オハイオ州北西部の学校（幼稚園から大学まで）にて小規模な落語のワークショップを複数回開催。公演及び公演者との交流を直接体験することを通して日本文化理解を促進
16	日本に出会う明るい未来たち	東部ミシガン大学	2011.12.01 ～ 2012.03.31	日本文化と殆ど接点のないミシガン州イプシランティ市において、5週間の日本クラブを開催する事業。小学校3年生から高校生までの生徒達に、日本の食べ物や美術、文学、科学技術などを紹介
17	「つながる」イニシアティブ	バージニア大学	2011.12.01 ～ 2012.05.31	バージニア州の教員に日本語や日本の文学、伝統、時事問題への知識や理解を深めるための「つながるイニシアティブ」事業。幼稚園から高校までの教員向け研修やゲスト講師によるセミナー、バージニア州の学習指導基準に適合するカリキュラム作成等を実施
18	桜植樹記念教育プログラム	オハイオ州立大学	2012.02.01 ～ 2012.05.31	東京都から米国ワシントンDCへの桜贈呈100周年を記念して、日本政府からオハイオ州コロンブス市に20本の桜の木が贈呈される。コロンブス市政200周年記念事業の一環として、植樹先のフランクリン公園植物園とともに様々な教育プログラムや記念イベントを実施
19	桜寄贈友好100周年事業	広域シンシナティ日米協会	2012.03.01 ～ 2012.05.31	日本から米国への桜寄贈100周年を記念して、シンシナティの美術館、植物園、日系企業とも協力し、地元の市民、小中高校生・大学生を対象に、日本文化紹介事業を実施。日本の相撲、太鼓、着物、禅の庭園などを紹介
20	日本の凧プロジェクト：桜寄贈100周年記念イベント	インディアナ日米協会	2012.03.30 ～ 2012.04.30	日本から米国への桜寄贈100周年を記念して、仙台から伝統凧の職人を招へいし、インディアナポリスやシンシナティの周辺地域の小中高校生や大学生を対象に、凧の文化や歴史に関するレクチャーと、凧作りのワークショップを実施
21	アパラチア日本文化紹介週間	ラドフォード大学	2012.03.15 ～ 2012.04.14	ヴァージニア州ラドフォード（アパラチア地域）において、日本の文化を1週間集中的に紹介する事業。日本の古典及び現代映画を3本上映、日本の文化や経済、社会に関する学術レクチャーを3回実施。更に、地域の小学校を訪問し、紙芝居や人形劇を実施

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
22	合気道セミナー（成山哲郎）	トゥレーネ大学	2012.02.10 ～ 2012.04.30	NPO法人日本合気道協会から成山哲郎を招へいし、地域の小中高校生、大学生や一般熟練者を対象に、日本の精神文化に焦点を当てた合気道のレクチャーやワークショップをニューオーリンズで実施。併せて、日本の武道を研究する研究者との学術シンポジウムも開催

１．ニューヨーク日米センター事業費 ／（5）地域・草の根交流小規模助成

米国内で開催される日米間の地域・草の根レベルでの交流事業に対し、小規模の助成を実施。

合計額 3,101,452 円

	事業名	助成対象団体名	期間	事業内容
1	グアム日米協会設立に向けて	ハワイ日米協会	2012.03.01 ～ 2013.02.28	グアム日米協会設立支援を目的として、グアムのビジネス、政府、教育・研究分野、米軍等の各リーダーや関係者のネットワーキングの機会となる二度の交流イベントを実施
2	将来のための資金調達：中西部の日米協会を対象として	ペンシルベニア日米協会	2012.03.01 ～ 2012.03.31	米国中西部地域の日米協会及びその理事会を対象とする資金調達のノウハウや戦略に関する研修セミナーを開催
3	1920年代の日米友好親善人形交流	タウブマン美術館	2012.03.01 ～ 2012.06.09	1927年に行われた日米間の人形を通じた友好親善交流に焦点を当て、日米の長い市民レベルの友好を再確認する事業。3体の人形や人形にまつわる小物の展示とともに、地域の図書館との共催で、漫画、折り紙、習字、太鼓などに関する教育プログラムやワークショップを実施
4	若手中堅職業人材アウトリーチプログラム	ケンタッキー日米協会	2012.03.15 ～ 2012.12.30	ここ数年深刻な会員数の減少に直面している日米協会が、会員拡大を目的に、若手・中堅の職業人材を対象にしたネットワークイベントや、キャリアに関するレクチャー、語学クラス、スポーツ交流イベントを実施